**第５回役員会（リモート）資料**

***今年度の内容***

１　三者合同研修会について・・・三者合同研修会は中止して臨時会長会に変更

(1)　会場が利用不可　　　　　中止

　　神野さんのデータ　　　　　YOUTUBEで各会長（校長）に配信・・・○

(2)　会場利用可（入場者数制限有）　　　　　臨時会長会を実施

ア　神野さん生講演・・・東京からの移動があるので、難しいのでは？

イ　神野さんのデータ　　　　　会場で放映・・・◎できれば

※　教育情報研修センター（GIGAスクール宮崎市の取り組みを説明）参加依頼中

(3)　YOUTUBEに関して

　　　佐土原小前田会長に依頼予定

　２　市P研究大会

　　(1)　現状から、通常の形での研究大会の実施は不可能。

ア　ハイブリット方式

　・コロナ感染予防対策をどのようにするかを検討する。

　・通常の参加ができないので、入場者をどのように絞っていくのか。絞った入場者については、住所・氏名・連絡先の記入依頼が必要。

・入場者の参加費とリモート参加者の参加費をどうするか。

　　　イ　リモート（オンライン）方式・・・◎

　　　　・ハイブリット方式では、会場(オルブライトホール)をそのまま利用できるが、リモート方式になると、大会をどのように運営していくかで、会場の変更も考えなければならない。

(2)　講師の選定　（講師料、他必要経費を含め上限５０万）

　ア　(1)のどちらの方式でも、講師の動きを考えなければならない。

　　・生配信…会場での生配信、遠隔地からの生配信

　　・録画配信…録画データ・・・◎

　イ　講師が決まったら、宿泊その他細かな準備関係は、事務局で対応する。

(3)　Wi-Fi環境

ア　ハイブリット方式をとる場合は、オルブライトホールにWi-Fi環境がないので、専門業者へ依頼することが必要。

　イ　リモート方式で、ホールを使用しない場合は、４階はWi-Fi環境が整っているので、利用可能。ただし、現在利用できる部屋は、学習室（借用済み）のみ。

(4)　アトラクションについて

　　・依頼校の決定　　　・録画演奏が可能かどうか

※　研究大会担当者

・１０月初旬くらいまでに講師を決めておく。（リモートができるかも含め）

　　　・ハイブリット方式リモート方式のやり方…費用も含め（専門業者に依頼等も検討）

☆　今年度は、２月５日が研究大会なので、１２月９日（木）に役員会ができるように会議室は押さえています。

３　今年度の県外（内）研修をどうするか。→役員研修（講師を依頼し）に変えたい。

　※　こんな人の話を聞きたいという希望があれば、事務局へ連絡を。

　　※　運営担当は、三者合同研修会担当にお願いしたい。

***次年度以降に係る検討事項***

１　会費の徴収について・・・規約の改正

　　　これまでの児童生徒数をもとにした徴収から、会員数の徴収へ…詳細　別資料

２　ブロック別研修助成金　→　ブロック助成金

　　　名称を変更し、各ブロックでより有効に助成金を運用してもらう

３　会員交流委員会（スポーツ大会）について

　　　次年度以降の、開催形式（全体、ブロック毎）競技種目・日程・時間等も含め、現担当役員に検討を依頼する。

　　　スポーツ大会は、役員が担当する事業の中で、その年度の最初の事業になるので、変更を検討するには、今の時期に行っておくことが必要である。　※１２月には、会場申し込みを行う。

４　家庭教育研修会の研究大会との統合について・・・規約の改正

　　　市P研究大会に内容を含めていく。（研究大会の充実・役員等の負担軽減、会費減による予算の有効活用）

　５　６月実施のＰＴＡ会長会とＰＴＡ事務担当者会の同時開催について

　　・事務担当者会での配布資料は、第１回の会長会とほぼ同じものである。

・これまで事務担当者会では、人権研修の委託金の受け渡しと会費納入依頼が主目的で

あった。現在、委託金については各校に振り込む形をとっているので、特に問題はない。

・会長と事務担当者に同じ場で説明することで、各単Ｐでの協議会事業の理解を増すことと各種文書配布時のスムーズな流れを期待したい。